

## 研究課題名「高齢の入院患者の処方薬削減が薬物の相互作用に与える影響の検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2016年4月1日から2017年3月31日の間、老年内科にて薬剤調整が行われた患者。

### 2. 研究目的・方法

高齢の患者さんは多くの慢性疾患を抱えており、多科受診により多くの薬剤を服用するポリファーマシーとなっています。ポリファーマシーにより患者さんの服用継続が困難になること、治療の効果・副作用評価、相互作用の判定が困難となること、薬剤費の増加等が問題視されています。しかしポリファーマシーの削減が推奨されてはいるものの、これにより実際に薬物相互作用が減少したか否かの評価は十分に実施されていません。アメリカで使用されている Lexicomp® Drug interaction では薬物の相互作用を6段階に分類して評価しており、注意喚起に関する分類が日本よりも細分化されています。この研究では入院前後の患者さんの処方薬剤数と薬部相互作用数を比較し、薬剤数と相互作用の関係性について調査します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療時の年齢、入院時の薬剤数(持参薬数)、退院時の薬剤数。

過去のデータを調べる研究であるため、新規での血液採取、問診、検査などは行いません。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、解析終了後または学会・論文での発表後はデータを削除できないことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

森 桂

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-741-2111

FAX 052-744-2685

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

山田 清文

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2681

FAX 052-744-2685